

2018

ともに拓こう、協同が輝く時代



自己改革の取り組み

～経過報告と今後の取り組み～



たのしい、おいしい、たのしい
JA伊豆の国

令和元年5月25日
第26回通常総代会資料 別冊

農家組合員の農業所得の向上へ

J A伊豆の国では、農家組合員の農業所得の向上や農業生産の拡大を目指し、多様な販売体制の強化や地域振興作物の開発、新規就農者の育成、生産者の負担軽減と労働力支援などに取り組んでいます。

▶▶ 直接販売事業の強化

平成27年度から営業職員を配置し、地元飲食店や観光施設などへの農産物販売の強化を図っています。

- ・平成27年度 売上:18,483千円
- ・平成28年度 売上:28,254千円
- ・平成29年度 売上:29,100千円
- ・平成30年度 売上:46,379千円

▶▶ ニューファーマー(新規就農者)の育成



ニューファーマー地域連絡会で研修修了証書を授与

先進農家や県・市と連携して、新規就農者の育成に取り組んでいます。管内では平成8年から就農が始まり、全国に誇る新規就農者の育成先進地です。就農に向けての計画作成や資金相談、「ニューファーマー地域連絡会」を開いて情報交換や経営のアドバイスなど多方面から支援しています。

平成30年度末時点で、ミニトマト52人、イチゴ22人、ワサビ2人、バラ1人の計77人が管内に独立就農しています。就農後は生産委員会や青壮年部に所属し、新たな担い手として産地の振興を担っています。

▶▶ 地域振興作物の開発

① ブランド米「伊豆の恵(めぐみ)」、売れる米作り



しずおか食セレクション認定の
ブランド米「伊豆の恵」

生産者の高齢化や鳥獣害などで放棄された田畑などの解消に向けて、J Aと伊豆市は農産物の価格を向上させ生産意欲を高めてもらおうと、平成25年から減農薬・減化学肥料栽培の特別栽培米「伊豆の恵」の栽培・普及に取り組んでいます。「伊豆の恵・新米キャンペーン」など消費宣伝活動も行っています。

- ・平成28年産:1,622俵
- ・平成29年産:1,573俵
- ・平成30年産:1,580.5俵

2 加工用キャベツ・ズッキーニ

平成27年から加工用キャベツの試験栽培を始め、28年からはキャベツと合わせてズッキーニの栽培に取り組み、産地化を目指しています。

ズッキーニの栽培は、以前から栽培している「小さな緑の会」会員を中心に、平成30年度は新たに4人が加わり、18人が栽培しています。毎年2月に新たな出荷者を募る説明会を開き、栽培者の増加を図っています。



ズッキーニの産地化を目指す

▶▶ 生産者の負担軽減と労働力支援

1 苺パッケージセンター

イチゴのパック詰め作業の負担を軽減し、栽培管理に費やす労力の確保と栽培面積の拡大を図るため、苺パッケージセンターを設置して対応しています。平成28年には、利用者の増加に伴い、専任職員の配置と施設を拡張し、現在約40人の生産者が利用しています。

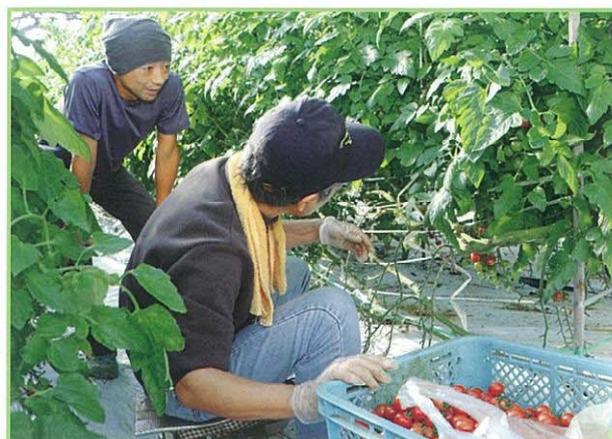


施設の拡充を図った苺パッケージセンター

2 農作業無料職業紹介所の開設

労働力支援と地域の雇用創出を目的に、平成16年に県東部JAで初めて、農作業の無料職業紹介所を開設しました。これまで200人ほどを生産者に紹介しています。

平成30年度は、静岡県^の支援を受け、農作業のパート・アルバイトの就労体験機会を提供する農作業体験をミニトマトとイチゴ農家、JAパッケージセンターで行い、14人が参加しました。



ミニトマト農家での農作業体験

3 水田畦畔^{けいはん}の省力管理の試験

畦畔^{けいはん}やのり面の除草作業の省力化の研究として、雑草抑制効果のある地被植物「センチピードグラス」の栽培試験を行っています。

4 いちご狩り土産品の売り上げ増大へ



▶ ジャム製造用の自動かくはん鍋



▶ イチゴ梱包用自動ひも掛機

平成30年4月、葦山・江間・伊豆長岡いちご狩り組合に、イチゴジャム製造用に自動かくはん鍋2台、土産用イチゴ梱包の自動ひも掛機3台を寄贈しました。

5 農業電子図書システム導入による営農支援

平成29年に、タッチパネルで簡単に操作できる「農業電子図書システム」を、葦山・修善寺・大仁・戸田・土肥センターの5か所に導入しました。

同システムでは、農作物の病虫害防除や農薬・栽培方法などの最新情報を提供し、営農指導員が不在時も相談できる体制作りを図っています。

▶▶ 苗の安定供給

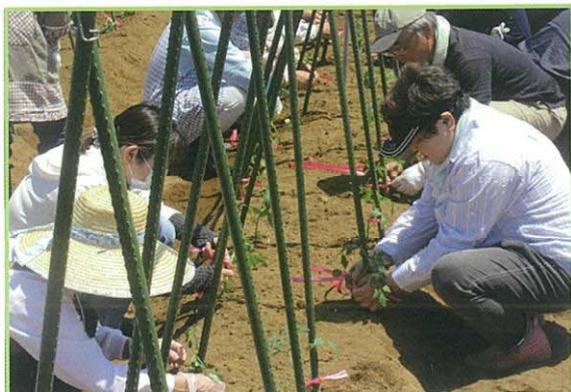


母親株育苗施設に緑色LEDと屋根に調光型フィルムを導入

イチゴでは平成30年度、苗の病害抵抗性を高め健全な親株の育成を目指し、JA母親株育苗施設に植物栽培用緑色LEDを設置しました。あわせて、高温期のハウス内温度を抑制し高温障害の軽減を図るため、同施設に調光型フィルムを試験導入しました。

ワサビでは、平成28年にJAや山葵委員会、行政などで構成する「わさび苗安定生産協議会」を立ち上げ、苗の安定供給に取り組んでいます。

▶▶ JA農業基礎講座で新たな出荷者育成



実践と講義で農業の基礎を学ぶ

JAは、農業の基礎を学びたい方を対象に、農業基礎講座を開講しています。JA営農指導員が講義と実習を交えて指導。これまで15人がJA農産物直売所の会員となって出荷を始めています。平成30年度は31人が受講しました。令和元年度は、新たに「野菜栽培基礎講座」と名称を変え、年金予約サービスの新特典として開講しています。

環境にやさしく効果の高い病虫害防除法の確立

ワサビ田用の熱水土壤消毒機を製作し、平成31年1月に静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターへ寄贈しました。

環境にやさしく効果の高い防除として病虫害の軽減の他、ワサビ田のリフレッシュ効果で生育向上を図り、収量の増加や生育の均一化、省力化などの効果を期待しています。



ワサビ田専用の熱水土壤消毒機を製作・寄贈

地域社会 へのサービス提供で 豊かな地域づくり

J A伊豆の国は、総合事業を通じた生活の基盤設備機能を発揮し、地域の活性化と暮らしやすい豊かな地域づくりに取り組んでいます。

農産物直売所で地産地消の発信

J A農産物直売所「農の駅グリーンプラザ」・「農の駅伊豆」・「農の駅土肥」は、地産地消の発信地として親しまれています。

栽培講習会を開いて出荷物の充実や品質向上を図る他、「わさびの日」や「乾しいたけの日」にあわせて消費宣伝会を行うなど、消費者の皆さまに地場農畜産物の魅力をPRしています。



グリーンプラザの駐車場を舗装してより便利に

JAまつり

地域の皆さまに、地場農畜産物のPRと、地域農業の振興・JA活動へのご協力を感じ、毎年JAまつりを開いています。

農産物の品評会・展示即売、地元農産物を使った豚汁の無料配布、農産物が当たる抽選会やもちまき、模擬店などを実施し、JA役員と生産者、地域の皆さまとの交流の機会にもなっています。



農産物品評会の展示・即売など多彩な催しでにぎわう

食農教育活動



シイタケの
植菌体験



▲カーネーションの収穫&農作業体験

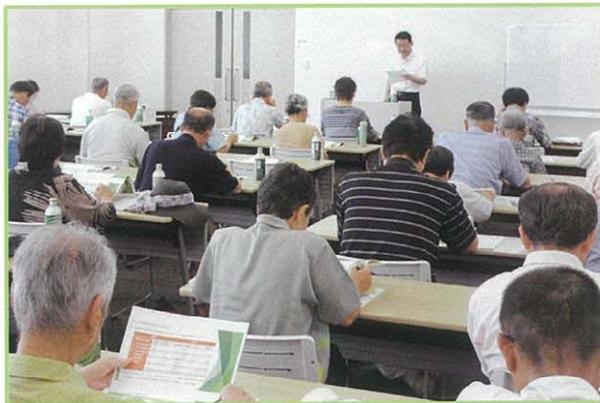
J Aは青壮年部・女性部と連携し、子どもたちと特産物や旬の野菜の栽培・収穫体験、親子料理教室などを開いています。消費者を対象にした特産物の収穫&農作業体験も開き、地域農業への理解促進と農家の労働力支援につながっています。

平成30年度は学校給食用に特産のイチゴを贈呈。ミニトマトや米、旬の野菜なども給食に提供し、子どもたちの成長を「食」を通じて応援しています。

また、毎年、管内の全小学5年生に食農教材本を贈呈しています。

- ・平成28年度 1,517人参加
- ・平成29年度 1,609人参加
- ・平成30年度 1,531人参加

金融相談センターの開設



外部講師を招いて無料の金融セミナーを開く

平成28年に相続・年金の専門部署として、金融相談センターを開設しました。相続相談、年金相談や手続きのお手伝い、無料の相続・税務・年金相談会など、税理士や司法書士、社会保険労務士などの専門家と連携し、地域の皆さまの資産相談に対応しています。毎年無料の金融セミナーを開き、平成30年度は募集定員を上回る45人が参加しました。

- ・平成28年度相談会 計87人参加
- ・平成29年度相談会 計92人参加
- ・平成30年度相談会 計98人参加

J Aらしいサービスの提供



◀サツマイモの収穫イベント

そば打ち体験教室▶



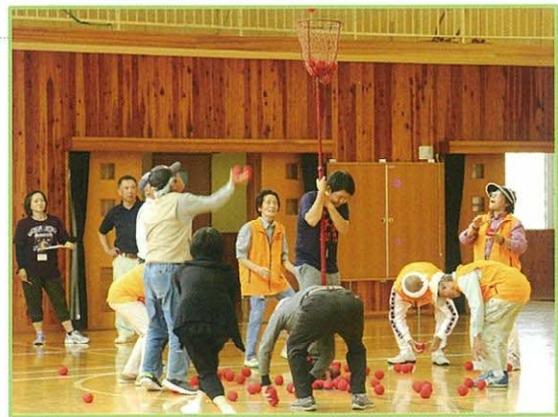
年金予約サービスの新特典で平成29年度から農業基礎講座のご優待、平成30年度はそば打ち体験教室の開催を始め、J Aらしいサービスの提供に努めています。

住宅クラブ会員を対象に、毎年サツマイモの収穫イベントを開催。サツマイモはJ A職員が協力して栽培しています。平成30年度は126組505人もの皆さまに参加いただいた、毎年人気のイベントです。

▶▶ 一部署一協同活動で地域と交流

組合員・地域の皆さまとの絆を深め、地域密着であるJAが地域社会の一員として豊かな地域づくりを図ろうと、「一部署一協同活動」に取り組んでいます。

地域の皆さまと遊休農地を活用した花の栽培や地区の祭り、清掃に参加、スポーツ大会や地域イベントのお手伝いなど、地域の皆さまと連携した活動が年々広がっています。



土肥地区シニアスポーツ大会の運営補助



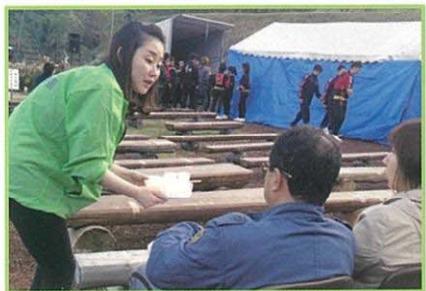
戸田小の児童と田植え体験



中伊豆リハビリテーションセンターのイベントでポップコーンなど無料配布



西豆地区の皆さまと遊休農地で花の栽培



伊豆月ヶ瀬梅組合のイベントにスタッフとして参加



熊坂地区の皆さまと清掃活動



浮橋そばの里祭りに模擬店を出店

令和元年度の新たな取り組み

JA伊豆の国3か年計画に加えて、以下の項目に取り組んでいます。

1 相続相談体制の強化

農中信託銀行の代理店として、新たに遺言信託サービスの取り扱いを開始。遺言書の作成支援からその保管、遺言執行まで、JAと農中信託銀行がお引き受けします。

2 准組合員との関係強化

正組合員と共に、地域農業と暮らしを支える「准組合員」との関係強化を目指して、准組合員向け広報誌を発行します。

3 トラクターレンタル事業

JA所有のトラクターを時間制でレンタルし、生産者の機械設備投資の負担軽減を図ります。



©みんなのよい食プロジェクト
キャラクター笑味ちゃん

おいしいをつくりましょ。

JA伊豆の国

〒410-2194 静岡県伊豆の国市南條800番地
電話 055(949)3211(代) FAX 055(949)1161
<http://www.ja-izunokuni.or.jp/>